

## 「外国人雇用状況」の届出状況【概要版】（令和3年10月末現在）

神奈川労働局

## 1 外国人労働者の状況

## 労働者全体の状況について（P1）

外国人雇用労働者数は100,592人。  
前年比で6,103人（6.5%）増加し、過去最高を更新した。増加率は前年の3.2%から3.3ポイントの微増。  
産業ごとに異なるものの、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により雇用情勢に厳しさがみられる中、外国人労働者についても影響が生じているものとみられる。

## ○国籍別の状況（P5）

## 労働者数が多い上位3か国

・中国	26,229人	（全体の26.1%）	〔前年24,804人〕
・ベトナム	20,261人	（同20.1%）	〔同18,243人〕
・フィリピン	12,976人	（同12.9%）	〔同12,276人〕

## 増加率が高い上位3か国

・ネパール	6,156人	〔前年比12.4%増〕	〔前年5,476人〕
・ベトナム	20,261人	〔同11.1%増〕	〔同18,243人〕
・中国	26,229人	〔同5.7%増〕	〔同24,804人〕

## ○在留資格別の状況（P6）

## 労働者数が多い上位3資格

・身分に基づく在留資格	43,310人	（全体の43.1%）	〔前年40,440人〕
・専門的・技術的分野の 在留資格	25,616人	（同25.5%）	〔同22,322人〕
・資格外活動	15,190人	（同15.1%）	〔同15,289人〕

## 増加率が高い上位3資格

・特定活動	3,571人	〔前年比49.7%増〕	〔前年2,385人〕
・専門的・技術的分野の 在留資格	25,616人	〔同14.8%増〕	〔同22,322人〕
・身分に基づく在留資格	43,310人	〔同7.1%増〕	〔同40,440人〕

・平成31年4月に創設された「特定技能」の労働者数は1,267人。

## 2 事業所の状況

### 事業所全体の状況について(P1)

外国人を雇用している事業所は18,476か所。

前年比で1,551か所（9.2%）増加し、過去最高を更新したが、増加率は前年の8.2%から1.0ポイントの微増となった。

### ○事業所規模別の状況（P9、12）

- ・「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の 60.7%、外国人労働者全体の 35.1%を占めている。
- ・事業所数は「30人未満事業所」では、前年比で 15.3%の増加であり、規模別で最も大きな増加率。
- ・「500人以上事業所」では、前年比で0.8%減少している。

## 3 産業別の状況

- ・外国人労働者は「製造業」が最も多く、外国人労働者数全体の 25.3%を占めている。
- ・外国人労働者を雇用する事業所は「卸売業、小売業」が最も多く、外国人を雇用する事業所全体の 20.0%を占めている。
- ・「建設業」や「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の構成比は外国人労働者、外国人労働者を雇用する事業所ともに増加。（P8、10）

## 4 派遣・請負の状況

- ・外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負業を行っている事業所数は 1,482か所（事業所全体の 8.0%）。前年比で 78か所（5.6%）増加。
- ・労働者派遣・請負業を行っている事業所に就労している外国人労働者数は 17,819人（外国人労働者全体の 17.7%）。前年比で 1,258人（7.6%）増加。（別表2、4、参考表-1 参照）